

一般質問から

ドックラン設置について

Q 空前のペットブームといわれている中、ドックランを設置又は設置の検討を行つておる自治体も出てきていると伺っております。八潮市においても犬を通じてコミュニケーションが取れるドックランを設置してはと思いますが、ご見解をお伺いいたします。

A 近年は、ライフスタイルも多様化し、ペット入口も増えてきており、特に犬をペットとしている愛犬家からのドックランの設置要望は多く、県内でも少数ではありますが、開設されている公園等もございます。

本市の公園は、土地区画整理

交通事故防止について

Q 所にハンプ（路上にコブを作る）を設置することにより、事故を大幅減少させることができます。注目を集めていますが、事故が発生している道路や交差点へのハンプの設置について。

A ハンプ設置につきましては、物理的に道路に突起物を設置するため、減速効果がありますが反面、振動・騒音の他に、走行時のバイク・自転車に危険が及ぶなどの問題があるため、現在、県内で設置されている例は、ほとんど無いような状態です。

ただし、ハンプに類似してい

武之内 清久

こうした中で、ハンプ設置につきましては、現在、埼玉大学や企業等において、公道実験を行なっており、走行時のハンプ設置について、今後、警察及び県の交通担当課などから情報収集を行い、調査研究をして参ります。

公用車に防犯ステッカーを貼ることについて

Q 市の公用車に、「防犯啓発用ステッカー」を貼ることについてお伺いします。

A 市の公用車に、「防犯啓発用ステッカー」の着用を図ることとは、地域の防犯パトロール隊などの組織結成を育成することともに、増加の傾向にある本市の犯罪の発生を抑止するため、一定の効果が期待できるものと思われます。

今後、実施時期などを検討し整備して参りたいと考えております。

戸川 須美子



生活保護について

池谷 和代

Q 身体に困難を抱える人などに対する生活保護費を振込みにすることはできないでしょうか。

A 市役所に来庁できる方は原則、相談室での支給とし、病院への入院や施設への入所、身体に障害などがあるために保護費を受け取りに来られない方に対しては、口座振込み等を行っています。受給者の口座振込について、何度か検討しており、メリットとして、本人の都合の良い時に必要なだけ引き出すことができる。このようにして、事務量の削減ができる職員が現金を取り扱わなくても済むことなどが考

ゴミ減量化の対策について

豊田 吉雄

Q 「ごみが増えて処理が限界」との見出しの回覧が町会から、また、広報やしお9月号にも同様のお知らせが、掲載されました。いずれも、家庭ごみは水を良くきつて出すこと、家庭、事業系ごみの減量化に協力をとのことです。市の対策についてお伺いします。

A 平成15年度の八潮市の燃えるごみの量は家庭系ごみ1万9474トン、事業系ごみ1万1725トン、合計3万1199トンで対前年比8.03パーセントの増加であり、管内5市1町でもトップの伸び率を示しています。本市では、市民の皆様に広報紙の特集、町会の回

伊勢野「工業地域」での、14階・高層マンション建設は問題！

広沢 昇

Q 伊勢野地域の一部は、用途地域が「工業地域」に指定されており、工場等の立地している地域に、14階建て高層マンション建設することは、問題があります。

特に、マンション用地の近隣には、工場があり、工場の操業環境が悪化する恐れがあります。逆に、工場地域でありながら工場等の移転を迫られる可能性があります。

今後、工業環境の確保のため

現状では今後も同様の方法で支給し、身体に困難を抱える方などについては、今後も状況に応じて対応して参りたいと考えております。

周知の徹底を図るとともに、出

前講座や各種市民団体等の会議等に出席した場をお借りし、機

会あるごとにごみの減量化・資

源化についてご協力のお願いを

していきます。

今後、工業環境の確保につ

いては、条例等の法律で規制す

べきです。

りたいと考えております。

度は、地域住民の参加と合意によつて規制の対象とするエリアや規制する内容も地域の実情にあつたものを柔軟に定めることができます。しかも、規制するための法的手続きを市が都市計画決定をすることができ、比較的柔軟に対応できる制度です。

当地区についても、地域住民の方々と話し合いながら、より効果的な制度の活用に努めて参